

警察庁によると、2016年の全

国の交通事故発生件数は、前年より3万7667件少ない49万9232件、負傷者数も同じく4万8092人少ない61万7931人、死者数も同様に21

3人少ない3904人で、

発生件数、負傷者数、死者数とも減少しました。

一方、65歳以上の高齢者の死者数は2138人で、高齢者全体に占める割合は54・8%で過去最悪となっ

ています。

高齢者の死亡事故を防ぐために、歩行時は①横断禁止場所の横断は絶対にしない②薄暮・夜間の場合、反射材を身に付ける——こと

を守るよう教えましょう。

また、高齢者

が車両を運転する場合は、身体機能の低下等で車を暴走させ、事故の加害者になるケースが相次いでおり、慎重な運転が求められます。

高齢者の交通死者過去最悪

交通安全三メモ